



第30代 会長
千葉県南部日青会
小泉 輝泰

第三十代会長退任にあたり

ます。

新規立ち上げとなった震災復興委員会や、青少年教化委員会による東北支援活動、社会教化委員会による法人への新たな取り組み、そして当会初となる全日仏青理事長の推挙を始め全日仏青への貢献など、種々の提議、提案をさせていただきまし

た。その中で、時には厳しい意見を頂戴しながら、何時間にもわたる熱い議論を交わし、また時には温かいお声掛けと共に大きな夢を語り合い、全国の青年僧との素晴らしい語らいの中で、共に多くを学ぶことが出来た二年間でありました。

またその出会いは青年僧のみに止まらず、諸活動において出会った様々な団体や人々とのご縁、そして社会に身を投じた活動の数々は、時代とそれに乗じた世間の移り変わりの早さを、身を以て感じさせていただきました。それをただ傍観するか、それともその流れを先んじて進むのか、それによって社会における宗教者としての価値が問われる。現代社会は私たち僧侶に、そうした厳しい問いを突き付けていることを実感しています。

何を以て私たちが変わるべき

であるか、そしてその反面、私たちは何を失ってはならないのか、大変難しい選択の中で私たち青年僧が抛り所とすべきもの、それは自身が僧侶であること、そして何よりも宗祖大聖人の末弟であることではないでしょうか。それこそが、私たち第三十代執行部が掲げた「自覚」なのです。

この「自覚」を胸に、変わりゆく現代社会という荒波に身を投じ、いかなる場所、立場であっても青年僧としての誇りをもって活動に邁進する。今期執行部の二年間の活動を通し、私たちの伝えたかったその思いを少しでも感じていただければ、これに勝る喜びはありません。

第三十代執行部の二年間の活動に際し、温かいお声掛けやお力添えをいただきました各聖各位、そして私たちの声がけに真摯に耳を傾け、共に活動を行って下さった全国の青年僧の皆様には、心より感謝を申し上げます。誠に有難うございました。

そしてこの思いを引き継ぐ新執行部へ、更には次世代を担う若き青年僧への変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。退任のご挨拶とさせていただきます。

第三十代執行部が発足して以来、間もなく二年の歳月が流れ、いよいよ私の会長任期も終わりを迎えるようとしております。私たちはこの二年間に亘り、「自覚」というテーマのもと、

様々な活動を展開させていただきました。それは、素晴らしい執行部の皆との出会い、そして全国各地の青年僧の皆様との出会い、多くの素晴らしい縁によって支えられた活動であったと思

全国日蓮宗青年会 第三十代執行部

任期満了御礼

副会長兼伝道担当委員長 原 恵亮

「全日青とは何か？」と問われれば「全日青とは出会いです！」と答えます。事業や組織や会議などで賛否両論ありますが、出会いに於いては異論が無いと思いません。関心が無かったが故に、一度関心を持つたら奥深くまで踏み込んでしまいました。これも偏に「新しい出会い」が広がって行くからでしょう。宗門内に止まらず他宗派・他宗教まで広がり様々な方から多くを学び、自分が大きく変わりました。まだまだ発展途上ですが過去の自分を恥ずかしく思います。その様な私に真剣にお付き合い下さった皆様に深く感謝申し上げます。有難うございました。

災害対策担当委員長 若松 誨泉

災害対策担当委員長の任を賜り、任期二年を無事に終えることが出来ました。この二年を振り返って思うことは、災害時に現地の状況確認の為、ご連絡をさせて頂きました会長様をはじめ災害対策にあたられた各御上人との会話の中で、情報を集めようとする熱意が伝わり、全日青というネットワークを通じて何が出来るのかが必要なのかという、各々の災害へ対する意識の向上がとても感じられた事で御座います。これから各地で災害が起こります。その時はどうか迅速な行動が出来ますよう、皆様の御協力を最後にお願ひ申し上げます。私の挨拶にかえさせて頂きます。二年間誠に有難う御座いました。

震災復興担当委員長 梅澤 宣周

この度は、全国日蓮宗青年会第三十代執行部任期満了により震災復興担当委員長を退任することになりました。全国単位青年会会員の皆様のご指導ご協力に、心より感謝申し上げます。東日本大震災から三年が経つても被災地は何も変わっていません。大津波により何も無くなった大地は草木が荒れ果て、それと同じように復興への苛立ちで人々の心が荒れ果てています。

この現実は今も続いています。だからこそ、我々僧侶に何が出来るのかと自問自答を繰り返し、「復興」と呼べるその時まで寄り添い続けたいと思います。最後になりますが、我々は無関心であることなく、今後とも被災地への継続的なご支援ご協力をお願い申し上げます。後退任の挨拶とさせて頂きます。

社会教化担当委員長 大森 太郎

任期満了を迎えるにあたって一言御礼のご挨拶を申し上げます。東日本大震災での復興支援活動では、宗教団体であるがゆえに様々な制約があり組織としてのもどかしさを感じました。それを払拭するにはどうしたらよいかを、小泉会長始め執行部で、議論を重ねていった結果、「社団法人」取得に向けて動きはじめ、高知結集にて社団法人取得の承認を頂きました。

私たちは社会の中に青年僧として「何が出来るか」「何をしなければならぬのか」を正しく認識し、社会からの需要をいち早くキャッチして行動しなければなりません。社会情勢は刻一刻と変化しております。その時代に合わせ、「社団法人」を有効活用していただく事をご期待申し上げます。任期満了の御礼に代えさせていただきます。ありがとうございました。

立正平和運動担当委員長 服部 巧顕

十二年前より全日青に携わり、委員長を拝命して早

二年。「この二年間で何ができたのか」と振り返ると、委員の熱意を感じながらも、新たな企画や活動を展開することなく、従来の立正平和運動委員会の活動を継承することに終始致しました。この二年間で、当委員会に「慰霊行脚以外の活動を」と望む声も多く寄せられ、当委員会がすべき活動は多岐に亘ると改めて感じました。また、多くの青年僧が個々で立正平和活動をされていることも知ることができました。今、我々青年僧は個として、団体として、どのような活動をすべきか色々と考えさせられる二年間でした。末筆になりましたが、意義深い慰霊行脚に参加させて頂きました琉球山法華経寺様・神奈川第一部日青会様・長崎県日青会様、また、ご参加下さいました青年僧の皆様は厚く御礼申し上げます。

総務担当委員長 松森 孝雄

一昨年より総務担当として委員長を務めさせて頂きました。第三十代小泉会長の「自覚」のスローガンのもと、執行部一丸となつてその任にあたって参りました。私たちは青年僧として、社会に対する外向きの視点を重視する上で、社会の中における一僧侶としての「自覚」、佛弟子としての「自覚」、祖道を歩む「自覚」等、今一度自身を見つめ直し、前進する良き機会を得た二年間であったと思います。そして又、本宗からは初となる全日本仏教青年会の理事長に伊東第二十九代会長が就任されたことは、世界の仏教界（宗教界）を視野に活動する素晴らしい機会を得ることができました。この二年の飛躍を糧に更なる精進を誓い、全日青に関わる全ての皆様に感謝申し上げます。

青少年教化担当委員長 山本 応也

振り返ると「集まれ東北のこどもたち」一色の二年間でした。子供たちとの縁は私の一生の宝となりました。これからはその宝をたくさんの方へおすそ分け

する事が私の使命だと考えています。二年間で私が感じたこと、それは子ども支援を含め全日青の震災支援を「それは全日青の仕事」「自分たち(管区)だけで出来る」とどうか思わないで下さい。震災から丸三年が過ぎたこれからは、「一番大事な時期」なのです。ご縁を頂いた方は勇気を持って一歩踏み出して下さい。自覚を持ってご縁をどんどん繋いでいって下さい。お読みになられた皆様に子供たちからもらった「宝」をおすそ分けさせて頂きます。二年間本当にありがとうございます。ありがとうございました。

海外布教研修担当委員長 市川 泰雅

退任にあたり、「自覚」という言葉を中心において活動を振り返ってみると、日ごろの活動を疎かにしてきた反省と多くの方々とのご縁に感謝することに尽きると思います。私個人としては東日本大震災を受け海外より国内で活動すべきではないかと思ひ悩みましたが今年6月の北米開教一〇〇周年の円成に向けての橋渡しが最大の役目ではと今考えております。二年間、皆様のお力添えを頂戴し務めさせて頂きました事に深甚の謝意を申し上げます。

広報・教宣担当委員長 藤田 文経

広報・教宣担当委員長を拝命し早二年、振り返ると時間ばかりが過ぎ、「何ができたのか?」と自問するばかりです。しかし、全日青・全国単位日青会の行動力や新たな活動への挑戦などを目の当たりにし、自分で勝手に限界や境界を作っていることに気づかされました。また、それと同時に第三十代で掲げた「自覚」に立ち返り「日蓮聖人の弟子として何をしなくてはいけないのか」ということにも改めて見つめ直すことができ、全日青に携わらせて頂いたことは何にも代えがたい素晴らしい経験でした。

全日青での経験と、様々なご縁を頂戴できたことに

感謝申し上げ、任期満了のご挨拶とさせて頂きます。

行学道場担当委員長 谷川 寛敬

小泉会長が掲げた今期テーマは「自覚」でした。そもそも『自覚』とは、自分自身の置かれている状況や、自分の価値を知ること。仏教的には「自ら覚める」事を指します。それに気づくには、意識して実践行動する事に帰結されます。当委員での二年間の歩みを振り返ると、日蓮聖人の御魂に触れるべく、身延山久遠寺で全日青初となる輪番奉仕を行い、小松原法難の霊場である千葉県鏡忍寺への参詣など、日蓮門下青年僧としての『自覚』を深めるべく、「異体同心」に魂の原点帰帰をさせて頂きました。全日青だからできること、また全日青にしかできないという使命感を抱いての活動を通して、感動感謝の二年間でした。ご尽力賜りました各聖には、心より甚深の感謝を申し上げます。

宮鹿沖日青会 太田 寛周

結集担当委員長という大役の任も終わりを迎え、この第三十代執行部の方々の御縁に感謝致します。私の執行部での任期は中部結集岐阜大会で満了いたしますが、この御縁を通じて知り合えた皆様との御縁は終わりではなく、始まりだと思っておりますので今後ともどうぞ宜しくお願い致します。又、最後に小泉会長、原副会長、各委員長様、事務局委員の皆様、高知結集大会渡邊実行委員長並び実行委員会の皆様、私を支えて頂いた九州の同心の皆様、本当に有難うございました。皆様と出会えて私自身が成長する事が出来ました。この御縁と御恩を忘れる事なく精進致します。

全日仏青担当委員長 野澤 智秀

第二十九代伊東会長が全日本仏教青年会の理事長就任にあたり、私が全日仏青担当委員長(全日仏青事務局長)を仰せつかりました。この一年間振り返り、人

として僧侶として数えきれない貴重な経験をさせて頂きました。全日仏青という会に携わり、それぞれの思想や理念が交錯する中で、一つの形にしてゆくこととなった時の素晴らしさを経験致しました。

今後も皆様方には宗派を超えた活動で広宣流布を果たすべく、情報を発信させて頂きます。これよりも全日仏青へのご理解ご協力をお願い申し上げます。第三十代執行部任期満了のご挨拶に代えさせて頂きます。

事務局長 遠山 玄秀

「光陰矢のごとし」振り返ると、本当にこの二年間はあつという間でした。

小泉輝泰会長の下、全日青のスムーズな運営と、単位日青会との連携を心がけて事務局長の役を務めさせて頂きました。

単位日青会の皆様のご協力がありまして、この二年間務めることができました。ありがとうございました。その中で、色々と不手際もあつたかと思ひます、この場を借りてお詫び申し上げます。

この二年間、多くの方々とのご縁を頂き、そして多くのことを学ばせて頂きました。学ばせて頂いた中の反省点は、次の事務局にしっかりと引き継がせて頂きますので、今後とも全日青をどうぞよろしくお願ひいたします。

財務担当	鶴澤 貫陽	事務局長	松岡 教光
事務局次長	壘 慈恭	事務局長	藤井 教祥
事務局員	田村 完浩	事務局長	石本 真教
事務局員	岡崎 英里	事務局長	長谷川雄宣
事務局員	大沢 正教	事務局長	村野 仁誠
事務局員	日吉 浄海		



御題目結縁全国一斉行脚
—立正安国の実現を目指して—

御礼

副会長・伝道担当委員長 原惠亮

我々全日青は平成二十一年より平成三十三年宗祖御降誕八百年に向けて、宗門運動「立正安国・御題目結縁運動」のちに合掌」の具体的取組として展開しております。

例年は四月二十八日の「立教開宗会」の時期に開催していましたが、本年は「小松原法難七百五十年」にあわせ展開の呼びかけに、多数の単位日青様が応えて下さいましたこと心より感謝申し上げます。

全日青の目的は「宗祖の願業である立正安国、仏国土建設のために邁進し、単位日青和合と宗門興隆に努力する」(規約第六条)ことです。

その為に全ての単位日青の各聖が一丸となつて取り組む事が出来るのが「行脚」では無いでしょうか？

この行脚は、御降誕八百年に向けての宗門唯一の継続的事業であると自負しております。御正当までには千二百名を数える「全日青会員総行脚！」が実現する事を願っております。



活動報告 1

全日青被災地復興支援傾聴
ボランティア活動「お茶っこ会」

福島県南相馬市

震災復興担当委員長 梅澤宣周

▼第一回お茶っこ会

平成二十五年十月二十二日、「東日本大震災復興支援傾聴ボランティア活動」の呼びかけに全国から十四名の青年僧が南相馬市小高区役所に集結した。

今回の活動場所であるカフェ「いっぶくや」はまだ一時帰宅地域であり誰も居住していない。果たしてどの程度の人達が訪れるのかは予想もつかなかったが、現地の方々は「お茶っこ会」の為に遠方の仮設住宅や仮住まいから足を運んでくれた。

三十名程の参加者と青年僧は、グループで会話したり、一対一で話したりと色々な形で傾聴活動が始まった。参加者は、家屋・家族・原発問題・仕事のことなど、ここでは書ききれない程の様々な不安を我々にゆつくり静かに話し始めた。決して救ってくれとか助けてくれと言っている訳ではなかった。より多くの人びとに「現状を理解してほしい」と語りかけてきたように思えた。世の中の震災記憶の「風化」という不安の中、一生懸命一歩踏み出そうとしている姿がそこにはあった。

今回の活動を通して被災地の状況を目にすると、ここで生活をしてきた人々の尊い歴史の重みや人々の想いが震災により止まってしまったと感じた。その時計の針を進める一助として僧侶の役目は必要と痛感した。この傾聴活動を経験して人と人との懸け橋が必要だと言うことを感じ得た。最後にこの傾聴活動「お茶っこ会」に際し、共催を快諾頂き多大なるご協力を頂いた地元NPO法人「ほつと悠」



全日青被災地復興支援傾聴ボランティア活動「第2回お茶っこ会」



全日青被災地復興支援傾聴ボランティア活動「第1回お茶っこ会」

様、また小高区の横山御夫妻のご縁を大切に、継続的に支援活動が続けて参りたいと思います。

▼第二回お茶っこ会

平成二十五年十二月十日、「第二回お茶っこ会」が行われ、全国から十六名の青年僧が集結した。

二ヶ月前の「第一回お茶っこ会」から依然として変化が見られない町並みや景色が広がる南相馬市。世間で「復興」の言葉だけが一人歩きしている現実、現地に行けば必ず感じる事が出来る。そんな現状を踏まえつつ、「第二回お茶っこ会」がカフェ「いっぶくや」にて行われた。

傾聴活動の準備の途中、リピート訪問者や新しい方々が少しずつ集まり前回よりも多数の人が集まった。第一回目での活動の成果が見えた様に思う。前回は、法話も取り入られての傾聴活動であったが、今回は一人一人話をゆつくり聞くことに重きをおいた。それは、前回話しきれなかった方々が多数居たことを踏まえての事である。

今回嬉しく思ったことは、前回から引き続き足を運んでくれた方々が全日青の活動を心待ちにして居たことである。僧侶を必要としてくれる場がここにあり、ここで活動を続ける事に意義があると確信した瞬間でもあった。

また、今回のお茶っこ会は前回より笑顔が多く見られたように思える。しかし、被災地の現状を目の当りにし、人々の尊い歴史や想いが震災以降止まって居る現実だった。その止まった時計を進めて行くのは我々の役目と感じ、この「お茶っこ会」が復興への一助となることを切実に願い活動を継続して行きたい。

東日本大震災から三年の歳月が経過しようとする中、より一層風化が進んでいる。今後も全国の皆様方には被災地への継続的なご支援を宜しくお願い申し上げ、活動報告とさせていただきます。

活動報告 2

インド龍宮寺十四周年記念法要

■インド・ナグプール妙海山龍宮寺

総務担当委員長 松森孝雄

「インド・ナグプール妙海山龍宮寺創立十四周年記念法要と仏跡参拝」と題し、平成二十五年十一月十五日より二十二日までの八日間、全日青による団参を執り行った。ナグプールにある妙海山龍宮寺における法要は、毎年この時期の満月の日に日蓮宗国際仏教親交会（以下、親交会）により行われており、全日青としても恒例行事として参加させていただいている。

初日はデリーに向かって出発したが、機材トラブルにより東シナ海上空から成田に引き返すという事態が発生したため、予定より一日遅れてのデリー入りとなった。

ナグプールに到着後、ホテルにて親交会団参メンバーと合流し、龍宮寺に入った。

記念法要は、茂原寺の持田日勇貫首猊下大導師、松本慈恵僧正修法導師、参加各聖出仕のもと厳肅に執り行われ、数万人の現地参拝者とともに団扇太鼓を伴い大音聲にてお題目がこたまし、「日本の佛法の月氏へかへるべき瑞相」『諫曉八幡抄』の顕現を目の当たりにし感動に包まれた。最後には現在龍宮寺の管理をされているスレーカー・クンバレ女史から甚深の謝辞が述べられ、ナグプールを後にした。

翌日より四日間は、霊鷲山にてご来光、ビンビサーラ王牢獄跡、竹林精舎、ナーランダ仏教大学跡、ブダガヤ（金剛宝座／尼蓮禪河）、ベナレス（ガンジス河）、サルナートなど仏跡やその周辺を巡り、帰国の途についた。



集まれ東北のこどもたち in 大阪



インド龍宮寺十四周年記念法要

活動報告 3

集まれ東北のこどもたち in 大阪

青少年教化担当委員長 山本心也

この企画も震災の起きた平成二十三年から数えて三回目をおかえしました。本年度は岩手県から新規参加者六名を含め十九名が参加（※親御さんを亡くされたこどもたち）。初の大坂開催という事で『日本こども支援協会』皆様をはじめ、宗門各聖の多大なるご協力のもと企画を進めて参りました。内容は「ザ・大阪」。串カツを食べて、吉本新喜劇を鑑賞して、ネオンの明かりが眩しい道頓堀を散策。

USJを一日楽しみ、全国から支援頂いた食材を使っての「たこ焼きパーティー」。地元の支援者を通じ、企画趣旨に賛同頂いた「東北楽天・松井稼頭央選手」から届いたバスケットボール、大阪のお上人から届いた楽しいお土産が景品として並んだ「お名前ビンゴ大会」。気付けばもう、こどもたちが乗った飛行機に向って懸命に手を振っていました。

今回利用した「やつこ旅館」の女将さんは、ご自身が阪神淡路大震災を経験されており、本当にご理解を下さいました。貸切宿泊のおかげで、被災地には無いに等しい「こどもたちだけの自由な時間」を保ちつつも、スタッフと一緒にいる時間を増やしました。今はまだメインとなっている「遊びの空間」が、サブに変わる日が近づいている、と確信出来た in 大阪でした。

今後もこどもたちの未来の糧となる時間・空間を提供出来るよう、企画を進めて参ります。今後とも皆様方のご協力、更なるご支援をお願い申し上げます。

活動報告 4

全日本仏教青年会理事長就任祝賀会

■ 全日本仏教青年会第十九期理事長伊東政浩師

全日仏青担当委員長 野澤智秀

平成二十五年十二月三日(都内のホテルにて、全日本仏教青年会第十九期理事長伊東政浩師(全日青現顧問・第二十九代会長)の理事長就任祝賀会を開催させて頂きました。宗門、全日仏青関係団体、檀信徒など二〇〇名を超える方々に足をお運び頂き、温かいメッセージやエールを頂きました事を深く御礼申し上げます。

当日は宗門・本山をはじめとする多くの方にご祝辞を賜り、法華一乗会の武見敬三参議院議員からは「全日青会長時代からの統率力に更に磨きをかけて頂き、益々の活躍を期待しております。」と温かいご祝辞を頂戴致しました。また、菅義偉内閣官房長官をはじめ、各方面から祝電が多数寄せられました。

伊東師は謝辞で「今期より新たに諸宗教対話委員会を設立させて頂きました。仏教間、宗教間の対話や交流の中でお互いを認め合い、高め合っていくことがこれからの日本の仏教、世界の宗教には必要であり、宗派の垣根を越えて全日仏青加盟十三団体三万人の会員とともに宗教・社会に役立つ活動をしていく所存でございます。」と述べられました。

平成二十七年六月までの任期でございますが、執行部・役員とが一丸となりまして、宗教・仏教・社会の発展に寄与出来るように活動してまいります。法華経の精神を心に刻み、今しか出来ない活動を悔いの残らぬように行なってまいります。今後も皆様方より一層の力強いご支援、ご協力をお願い申し上げますと共に、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



世界仏教者優秀指導者賞授賞式



全日本仏教青年会理事長就任祝賀会

活動報告 5

全日本仏教青年会伊東政浩理事長
世界仏教者優秀指導者賞授賞

全日仏青担当委員長 野澤智秀

タイ国家仏教事務局と世界仏教徒青年連盟(WFBY)が主催する世界仏教者優秀指導者賞の授賞式が本年二月十五日、タイの国家仏教事務局博物館講堂にて開催され、当会顧問で現全日本仏教青年会理事長の伊東政浩師が授賞した。

この賞はタイ及び国際仏教に貢献したリーダーを表彰するもので、タイ国内並びに海外の百名の僧侶や在家信者と仏教会で、選考委員会の基準を満たす者のみに与えられる。最低十年以上仏教を修め、タイ国家や国際仏教に対して功績が認められ、その活動の質と量、その期間と連続性を考慮して決定され、日蓮宗僧侶が世界仏教から表彰されるのは極めて異例のことである。

全日仏青が進めてきた東日本大震災復興支援活動に関する海外への発信により昨年三月、WFBY各加盟団体は三回忌に合わせ各地にて追悼法要を行い、福島市音楽堂にて追悼慰霊・復興祈願法要が厳修された。また同年八月には、各国代表者を含む国内外の青少年約百名が福島県いわき市に集い、現地における視察・レクチャー・交流を通じて被災地の実際と今を学ぶ復興支援・国際仏教徒青年交換プログラム(IBYE)も開催された。被災地の現状について仏教者として積極的な国際社会への発信、特に原発事故の海外における正確な情報による風評被害を覆す正確な福島の情報を発信した功績等が評価され授賞となった。伊東政浩師は「驚くと同時に感激している。日蓮宗また日本仏教も広い目で見れば世界仏教の一部。法華経の精神を基礎に、仏教の宣揚と世界平和を祈念し、僧侶だけではなく在家仏教徒を含む仏教活動への顕彰と啓発を目標に更なる精進を誓う」と述べた。

活動報告 6

奈良東大寺花まつり千僧法要

■奈良東大寺大仏殿

全日本仏教青年会担当委員長 野澤智秀

日蓮宗として歴史的な快挙。伊東政浩全日本仏教青年会理事長（当会第二十九代会長・現顧問）が奈良東大寺大仏殿に於いて、「仏法興隆 花まつり 千僧法要」統合の祈り。世界平和すべての安穩のために」の大導師を勤められました。伊東理事長は日蓮宗から出られた理事長として、我が宗門では初めて東大寺大仏殿の礼盤に上がられ、各宗派・団体を代表して、世界平和とすべての安穩の為の祈りを捧げられました。

平成二十六年四月二十六日、全日本仏教青年会主催、東大寺・南都二六会共催、全日本仏教青年会加盟団体協力により、盛大に執り行われた千僧法要。この日は全国日蓮宗青年会々員百十名を含む、全国から集まった四百名以上の超宗派の青年僧侶が奈良東大寺に結集しました。土曜日ということもあり、大仏殿に続く参道は国内外の参拝者や小中学校の遠足等の大勢の人で埋め尽くされていました。色とりどりの装束をまとった青年僧の行列は伊東理事長を中心に参道を進み大仏殿へ。中でもひととき注目を浴びていたのは全国日蓮宗青年会の団扇太鼓の音と題目の声、東大寺境内に響き渡るその声に大仏様も驚かれたことでしょう。

一行は大仏殿の毘盧舎那大仏様が鎮座される蓮台に上り、法要が開始されました。各加盟団体の法要を終え、トリを務めたのは全国日蓮宗青年会。小泉輝泰会長（全日本



毘盧舎那仏



大仏殿

仏教青年会副理事長）修法導師の下、木剣修法と法華経読誦が厳修されました。毘盧遮那大仏様を修法師がぐるりと囲み、大音声でのご法楽となりました。

参加者一同は大仏殿での法要の後アショカピラー宝塔へ移動し、南都二六会会長導師の下、法要が執り行われました。この宝塔は昭和六十三年の花まつり千僧法要において、苦悩する人々の心の救済と人類の福祉・世界の平和に寄与することを誓願し、その精神を永く継承し青年僧の思いを後世に伝えることを形にしたものだそうです。

日本仏教の聖地の一つとして数えられる東大寺は、その昔より国家の安寧と国民の幸福を祈る道場でした。同時に仏教の教理を研究し、学僧を養成する役目も担っていて、古来若い僧侶達が行学を励む寺院です。その歴史ある東大寺毘盧遮那大仏様御宝前において宗派を超え、日蓮宗僧侶導師のもと法華経由縁の御回向が厳修されたこと、またそこに身を置いて千載一遇の得難い瞬間を過ごせたことは「感動」の二文字に凝縮されます。

法華経と題目に生きる日蓮宗教師として、本年の千僧法要は例年と違い大きな意味を持つ法要となったことは、言うまでもありません。

当日は天気にも恵まれ、全国日蓮宗青年会会員各聖大勢の御出仕のお陰様をもちまして、大円成を致しました。御法務御多用の土曜日にも関わらず、全国各地より東大寺にご参集を頂き、誠に有難うございました。皆様方におかれましては、来年も是非ご理解ご協力を賜り、仏祖三宝への報謝を實踐して頂けたら幸いに存じます。法華経・お題目を社会へ大きく発信していきましょう。

尚、当日の様子は東映の映画「ブツダ2」の特典映像に組み込まれる予定です。乞うご期待。

活動支援金・表賀拝受

ご支援・ご協力を頂いた方のご芳名（順不同・敬称略）

東京都北部宗務所

京都府第一部宗務所

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

神奈川東部宗務所

千葉東部宗務所

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

長谷川正浩

長谷川法律事務所

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙進教会

伊藤太雲

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

本興寺チャリティコンペ

金秀浄

善應寺参拝者

東日本支援金

日本長寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

妙法蓮華寺

本会活動に多大なるご支援・ご表賀を賜り、心より御礼を申し上げます。充実した活動のため、活用させていただきます。

ご協力有難う御座いました。



ベストウェスタンホテルニューシティ弘前
〒036-8004 青森県弘前市大町 1-1-2
Tel:0172-37-0700



ベストウェスタンホテル高山
〒506-0026 岐阜県高山市花里町 6-6
Tel:0577-37-2000



ベストウェスタンプレミアホテル長崎
〒850-0045 長崎県長崎市宝町 2-26
Tel:095-821-1111

上質の新基準

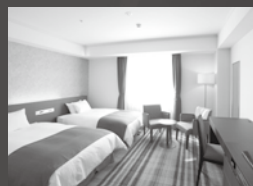
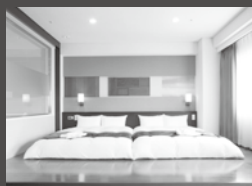
ベストウェスタン是世界80カ国に4,200軒のホテルをメンバーに持つインターナショナルホテルブランドです。

単一ブランドとしては加盟ホテル軒数が最も多い、世界最大級のホテルチェーンです。

統一されたブランドスタンダードによって、世界中のどこを利用しても安心と信頼が約束され、世界中の旅行者から愛されています。

客室を選ぶ、食事を選ぶ、ホテルライフを楽しむ…。

楽しみ方は『貴方しだい』。自分らしさの旅をご提案します。



株式会社ランドナーージャパン

〒460-0007 愛知県名古屋市中区新栄2-1-9 雲竜フレックスビル西館3F

TEL:(052)261-8445 / FAX:(052)241-1915

URL: <http://www.landowner.jp> / E-mail: public-relations@landowner.jp

<http://www.bestwestern.co.jp>

総本山身延山久遠寺御用 日蓮宗大荒行堂御用

数珠製造・仏像仏具・各種記念品土産一式

若松屋数珠仏具店

山梨県南巨摩郡見延町見延3700

TEL 0556-62-0145 FAX 0556-62-0191

振替／0045-5-1624 取引銀行／山梨中央銀行見延支店

E-mail wakamatu@eps1.comlink.ne.jp

ホームページ URL <http://www.eps1.comlink.ne.jp/~wakamatu/>

総本山身延山久遠寺・日蓮宗大荒行堂 御用達

身延山ご参拝お土産品 各種記念品等

浪花屋珠数仏具店

店主 深澤永寿

〈東谷参道の老舗〉御珠数・仏像・仏具・太鼓・掛軸・経本・線香・木鉦・印伝・水晶 等

多少に関わらず御用命お待ちしております

〒409-2524 山梨県南巨摩郡身延町身延3550 TEL 0556-62-0200 FAX 0556-62-0771

伝えたい! をお手伝いします

<http://www.e-for.jp/>

- | | |
|--------------|------------------|
| 取扱品目 | 印刷全般 |
| | 機関誌・報告書・名簿・他ページ物 |
| | パンフレット・ポスター・会社案内 |
| | 封筒・名刺・帳票類 |
| | ノベルティ・他特殊印刷 |
| | メディアミックス |
| | ホームページ企画・作成・管理 |
| | ビデオ撮影・編集・パッケージ化 |
| | 電子書籍・出版 |
| | プログラミング・データ処理 |
| 掛軸・文化財レプリカ作成 | |

株式会社 イーフォー

〒141-0031 東京都品川区西五反田8-7-11 アクシス五反田ビル202
TEL 03-3779-1140 FAX 03-3779-1141

宗祖名附茶屋

其
老舗
義屋

みのや

〒409-2524 山梨県南巨摩郡身延町身延3703
 TEL 0556-62-0312 FAX 0556-62-2526
 振替口座 00450-2526
 E-mail minoya11@eos.ocn.ne.jp

総本山身延山久遠寺御用達
 日蓮宗大荒行堂御用達
 各本山寺院御用達

念珠、仏像、仏具
 水晶、印伝、名香
 雨畑、土産品、式
 印章一式、表装

済和山済用達 麻布居
 株式会社 池澤法衣佛具店

〒604-8116 京都市中京区高倉通六角下ル
 TEL 075-221-2769(代) FAX 075-256-0036
 ●日曜・祝日・第2、第3土曜日は勝手乍ら休業させていただきます。

通話料は無料(弊社負担)で承ります。(AM10:00~PM5:30迄)


0120-23-4570

全国日青加盟単位日青会										会長名簿																																																																																																																																																																																								
(平成26年5月現在)																																																																																																																																																																																																		
富山県日青会	新潟県西部日青会	新潟県東部日青会	伊豆国日青会	栃木県日青会	茨城県日青会	埼玉県日青会	千葉県北部日青会	千葉県南部日青会	千葉県西部日青会	千葉県東部日青会	神奈川県第三部日青会	神奈川県第二部日青会	神奈川県第一部日青会	東京都日青会	東京都西部日青会	東京都東部日青会	青森立正青年会	秋田県日青会	岩手県日青会	山形県日青会	宮城県日青会	福島県日青会	北海道北部日青会	北海道南部日青会	北海道西部日青会	北海道東部日青会	岡元	松井	尚地	鹿内	卷	三田	佐藤	菊池	藤倉	最上	藤井	吉田	豊	後藤	下邨	加納	小堀	田澤	佐々木	河端	古山	小林	野澤	大塚	本間	海津	谷川	一実	義宣	英徳	祐生	延彦	圓明	義信	鍊城	信行	泰滉	教祥	勝観	慈恭	泰行	匡司	祥有	善光	裕泰	木教道	孝順	崇道	栄樹	智秀	信誠	詮雄	武尚	寛敬	石川県第一部日青会	石川能登日青会	長野県日青会	岐阜県日青会	名古屋日青会	愛知県三河日青会	愛知県尾張日青会	三重県日青会	京都日青会	京都府第一部日青会	大阪日青会	大阪和泉日青会	大阪三島日青会	大阪豊能日青会	奈良立正青年会	和歌山日蓮宗青年会	兵庫東部日青会	岡山立正青年会	広島県日青会	鳥根県日青会	鳥取県日青会	福岡県日青会	日蓮宗熊本県青年会	佐賀県日青会	長崎県日青会	大分県日青会	宮崎県日青会	富山県日青会	石川県日青会	福井県日青会	山梨県日青会	長野県日青会	岐阜県日青会	静岡県日青会	愛知県日青会	三重県日青会	京都府日青会	大阪府日青会	兵庫県日青会	和歌山県日青会	奈良県日青会	滋賀県日青会	京都府日青会	大阪府日青会	兵庫県日青会	岡山県日青会	広島県日青会	鳥取県日青会	島根県日青会	徳島県日青会	香川県日青会	愛媛県日青会	高知県日青会	福岡県日青会	佐賀県日青会	長崎県日青会	大分県日青会	宮崎県日青会	鹿児島県日青会	沖縄県日青会	堀田	藤井	伊神	田中	勅使河原	河合	宮崎	富田	日暮	中山	般谷	矢野	望月	高橋	松島	吉野	戸倉	山本	長崎	坂本	米涌	川崎	三坂	静山	宮崎	三ヶ尻	太田	龍教	昭光	玄記	裕史	寛祥	良延	貞悟	周温	有宏	孝俊	真亮	義法	恵真	大光	寛宗	俊幸	隆祥	観詠	龍深	教暎	玄雅	泰龍	恵豊	智祐	泰彦	和生	寛周

身延山久遠寺御用達 日蓮宗大荒行堂御用達

甲州印伝・珠数・水晶・各種記念品

身延山

紫雲堂


珠数・腕輪修理承ります

〒409-2524 山梨県南巨摩郡身延町身延3648
TEL 0556-62-0102 FAX 0556-62-3383


国内外を問わず団参は
日蓮宗指定業者

大陸旅遊

時我及衆僧 俱出靈鷲山



日蓮宗指定業者 観光庁長官登録旅行業第1399号 / 一般社団法人日本旅行業協会正会員


 株式会社 大陸旅遊 TEL 03-3376-2511
 〒160-0023 東京都新宿区西新宿5-5-6 第二ダイヤモンドビル2階
 http://www.tairikuryoyu.co.jp mail:tlc@tairikuryoyu.co.jp